



海軍少尉正六位相本豊太郎
特旨ヲ以テ位一級被進

叙從七位

正八位相本豊太郎

右謹テ奏ス

明治廿八年七月二十二日

内

閣

内閣總理大臣伯爵伊藤博文

海軍少尉

明治廿六年七月廿二日

内閣書記官

自

内閣總理大臣

其

内閣書記官長

計

海軍少尉正八位相本豊太郎

廿五年十二月理官お命^以年日

為^海に^能氏^実年^来日^清戦争

に^際に^{朝鮮}沿岸^未定^地に^偵

察^測を^殊に^咸海^軍に^功

績^著に^有る^事に^因り^て賜

御^詮議^を承^ける^事に^由り^て

左^官に^特に^任じ^らる^事に^由り^て

右^官に^特に^任じ^らる^事に^由り^て

以^て左^官に^一級^進に^任じ^らる^事に^由り^て

相本海軍少尉ハ明治廿五年十二月廿七日海
 軍少尉ニ任セラレ尙未軍務ニ従事スルコ
 ト數年能ク其ノ職務ヲ擧ケ且ツ容年未
 ノ日清戦争ニ際シ軍艦磐城ノ航海士兼
 分隊士ニ職ヲ奉シ危険ヲ侵シ朝鮮沿岸
 未定ノ地ヲ偵察測量シ殊ニ威海衛砲擊
 ニ従事シ功績顯著タル者ニシテ勲章下賜
 ノ御詮議ニモ可相成者ニ有之候處目下病
 氣ニ罹リ存命無覺末候ニ付特ニ位一階
 進メテ度別紙上奏書進達ス

明治二十八年七月廿二日

海軍大臣伯爵西郷從道



内閣総理大臣伯爵伊藤博文殿

海軍少尉正八位相本 豊太郎

叙從七位

右謹テ奏ス

明治二十八年七月廿二日
海軍大臣伯爵西郷從道



海軍